

JSSだより



シンガポール日本語補習授業校
The Japanese Supplementary School, Singapore (JSS)

「学校だより」第01号 文責 熊谷
令和 4年(2022年) 4月16日

ホームページで公開 www.jss.edu.sg/

祝 入学・進級 おめでとう

本校に入学・進級された皆さん、そして保護者の皆様、おめでとうございます。私は校長の熊谷高弘（くまがいたかひろ）と言います。宜しくお願い致します。

本年度の入学生は、小学1年生が60名、中学1年生が19名、4月編入生が14名で、全校児童生徒数は340名となりました。また、担任が19名、副担任が4名、教員ボランティアが20名（内、図書室担当8名）そして、スタッフ（事務・教務等）が私を含めて7名（内、3名は兼務）の合計47名で補習校を運営していきます。

補習校は、1992年10月、日本人会の一室を借りて児童生徒数16名でスタートしたと聞いています。日本語を学ばせたいという保護者の強い熱意を受け、外務省や文部省(今の文科省)そして、シンガポール教育省からも正式な補習校として認可されました。

本校は、現地校や国際校で学ぶ子どもたちにとって、数少ない日本語及び日本の伝統文化を学ぶ場の一つとなっています。授業では日本の学習指導要領に準拠した国語科の内容を行っていますが、年間授業日数は40日(年間120時間程度)と限られているため、家庭学習の充実に努めることも必要となります。宿題はしっかりとやっていきましょう。

補習校に通う児童生徒の皆さんは、平日、現地校や国際校等で学習した上で、補習校でも頑張ろうとしている「頑張り屋さん」です。皆さんのやる気を先生方全員が一丸となって、全力で支えていきますので、いっしょに勉強していきましょう。

そこで、学校が目指していることは、次の2点です。

1 楽しい学校、来たくなる学校を目指します。

2 分かる授業の展開を目指します。

その結果、「**基礎基本をしっかり身に付ける子**」

「気づき、考えて動く子」「やる気を持って取り組む子」を育成します。

まず、楽しい学校にするためには、皆さんの協力も必要です。「自分がされて嫌な事は人にしない(言わない)」ということを守ってほしいと思います。

次に、「仲間を認める。ありがとうと言える。笑顔で応える。」でチーム補習校を実現します。児童生徒は、「日本語を勉強する、日本の伝統文化を体験する」という共通の目的があり、誰もが仲間です。お互いに認め合い、助け合ってこそ信頼が生まれ、心も育ってきます。1週間に1日しか会えない補習校ですが、「支え合える友達ができる、その友達がいる」ことは、これから補習校に通い続けるための心の支えとなってくれることでしょう。

